※令和４年度以降入学生用

学校番号	3038

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史探究	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	世界史探究「新　世界史」　（山川出版社）						
副教材等	グローバルワイド最新世界史図表　（第一学習社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「歴史は暗記科目！」誰しも一度は聞いたことのある表現ではないでしょうか、この表現は「ある面では正しく、ある面では間違っている」と言えます。何故そう言えるのか、というと「全ての学問は知っていることが前提で組み立てられています。」そう「アルファベットを覚えている」から英語の勉強ができますし、「言葉の意味たくさん理解している」ので新聞や書籍などの文章から情報を読み取ることができるのです。先ほどの指摘の意図を理解していただけたでしょうか。

ではなぜ「歴史は暗記！」というインパクトが強いのか、それは情報の前提が少ないこと。つまり「なぜ？」「どうして？」が少ない上に、それが自分たちの生活に関わっていることを感じる機会が少ないからです。

「世界史探究」ではもちろん基本的な歴史事象や人物の業績は理解しなければなりませんが、「なぜ、そうなってしまったのか」または「なぜ 21 世紀の私たちが過去の出来事を知ることができるのか」といった人類の過去の足跡の「そもそも」に触れつつ、人類の誕生から 21 世紀までの人類史を幅広く、深く学びます。

必ず皆さんの「なぜ」「どうして」に答える授業になるはずです。頑張りましょう。

２　学習の到達目標

・世界史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や宗教、文化・風俗などと関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

・世界史の展開に関わる事象の意味や意義、年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握しその解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

・歴史上の諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される現代を生きる日本国民としての自覚、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	古代文明の特質	1　文明の誕生 2　古代オリエント 3　古代の南アジア・東南アジア・オセアニア 4　古代の東アジア 5　アフリカと南北アメリカ	a:世界各地域の古代文明の成立を気候や地形などの諸条件を踏まえて理解している。 b:各地域の文明を比較し、その特徴と相違点を根拠を示しながら文章で説明することができる。 c:古代文明が果たした人類史上の役割をその背景を理解しながら、探究的に学ぼうとしている。	定期考査 小テスト	レポート 課題	レポート 課題 グループワーク
	アジア諸地域の国家と社会	1　中国帝政国家の形成 2　北方ユーラシアの動向 3　分裂と融合の時代 4　隋唐帝国と東アジア 5　南アジア・東南アジア	a:中華帝国の成立ならびに中央アジア諸民族の勢力形成その背景を踏まえて理解している。 b:中華王朝を各時代区分ごとにその特徴と相違点を根拠を示しながら文章で説明することができる。 c:中華帝国と東アジア世界の形成をその特徴と背景を理解しながら、探究的に学ぼうとしている。	定期考査 小テスト	レポート 課題	レポート 課題 グループワーク
1学期	西アジアの帝国と古代ギリシア	1　古代西アジアの帝国 2　古代ギリシア 3　ヘレニズム時代	a:ギリシアやイランなどの諸帝国を“世界の一体化”という特徴を踏まえて理解している。 b:各地域の帝国を比較し、その特徴と相違点を根拠を示しながら文章で説明することができる。 c:特にアレクサンドロス大王が果たした人類史上の役割をその背景を理解しながら、探究的に学ぼうとしている。	定期考査 小テスト	レポート 課題	レポート 課題 グループワーク

※令和４年度以降入学生用

1学期	古代ローマ	1 ローマの発展と帝国形成 2 ローマ帝国の繁栄とキリスト教 3 ローマ帝国の衰退	a:ローマ帝国の成立とその拡大を気候や地形、また歴史的変遷などの諸条件を踏まえて理解している。 b:ローマの各時代区分の特徴を比較し、その相違点を根拠を示しながら文章で説明することができる。 c:ローマ帝国が、人類史上の役割をその背景を理解しながら、探究的に学ぼうとしている。	定期考査 小テスト	レポート 課題	レポート 課題 グループワーク
1学期	ヨーロッパの形成とイスラーム教の誕生	1 古代から中世へ 2 カール大帝とヨーロッパ 3 イスラーム教の誕生とカリフの政権 4イスラーム教とムスリム政権の広がり	a:西ヨーロッパ世界の成立ならびにイスラーム世界の成立を気候や地形、また宗教などの諸条件を踏まえて理解している。 b:各地域の変遷を比較し、その特徴と相違点を根拠を示しながら文章で説明することができる。 c:世界史上の重要な２つの文化圏の形成を、その成立と発展の背景を理解しながら、探究的に学ぼうとしている。	定期考査 小テスト	レポート 課題	レポート 課題 グループワーク
1学期	結びつくユーラシアの諸地域	1 宋と周辺諸国 2 モンゴル帝国	a:遊牧民の中華侵入を踏まえて、「モンゴルの世紀」と呼ばれる13世紀東アジアの世界情勢を理解している。 b:遊牧民が中華帝国から世界帝国を形成する過程を踏まえて、その特徴を整理し、文章で説明することができる。 c:古代文明が果たした人類史上の役割をその背景を理解しながら、探究的に学ぼうとしている。	定期考査 小テスト	レポート 課題	レポート 課題 グループワーク

※令和４年度以降入学生用

1学期	キリスト教ヨーロッパの成熟と交流	1 教皇権の確立と十字軍 2 ヨーロッパの膨張と成熟 3 ヨーロッパの危機と再生	a:宗教的情熱の高まりとヨーロッパ世界の膨張が引き起こした西ヨーロッパ世界の変化を理解している。 b:各地域の文明を比較し、その特徴と相違点を根拠を示しながら文章で説明することができる。 c:古代文明が果たした人類史上の役割をその背景を理解しながら、探究的に学ぼうとしている。	定期考査 小テスト	レポート 課題	レポート 課題 グループワーク
2学期	交易の進展と東アジア・東南アジア	1 東西交流の動向 2 明代の朝貢世界 3 大交易時代の東アジア・東南アジア	a:海上交易の進展や明代の諸政策などの諸条件を踏まえて理解している。 b:東西交易の特性とその広がりを時代ごとに比較し、その特徴と相違点を根拠を示しながら文章で説明することができる。 c:東西ネットワークの広がりと海域世界をその背景を理解しながら、探究的に学ぼうとしている。	定期考査 小テスト	レポート 課題	レポート 課題 グループワーク
2学期	アジア諸地域の再編	1 オスマン朝 2 サファヴィー朝とムガル朝 3 清朝支配の拡大 4 清朝の近隣諸地域	a:イスラーム世界の諸王朝興亡を経済や宗教など様々な観点を踏まえて理解している。 b:各地域の文明を比較し、その特徴と相違点を根拠を示しながら文章で説明することができる。 c:“アジアの世紀”の役割をその背景を理解しながら、探究的に学ぼうとしている。	定期考査 小テスト	レポート 課題	レポート 課題 グループワーク
2学期	ヨーロッパの成長と世界の一体化	1 ヨーロッパ人の海洋進出 2 世界の一体化とその進展 3 近世の始まり 4 宗教改革 5 主権国家体制の成立 6 オランダの覇権から英・仏の抗争へ 7 北・東ヨーロッパの動向 8 近世ヨーロッパの思想と社会	a:ヨーロッパ世界の変容と拡大をその時代背景を踏まえて理解している。 b:西欧各国の発展を比較し、その特徴と相違点を根拠を示しながら文章で説明することができる。 c：西欧世界の拡大が果たした人類史上の役割をその背景を理解しながら、探究的に学ぼうとしている。	定期考査 小テスト	レポート 課題	レポート 課題 グループワーク

※令和４年度以降入学生用

2学期	国民国家と近代民主主義社会の	1 商業社会と産業革命 2 アメリカ革命 3 フランス革命とナポレオン 4 反動と改革 5 1848 年の諸革命	a:近代という時代の特徴を各国の歴史事象を踏まえて理解している。 b:各地域の近代化を比較し、その特徴と相違点を根拠を示しながら文章で説明することができる。 c:市民革命が果たした人類史上の役割をその背景を理解しながら、探究的に学ぼうとしている。	定期考査 小テスト	レポート 課題	レポート 課題 グループワーク
2学期	新国家の建設と世界市場の形成	1 アメリカ合衆国の発展 2 ラテンアメリカとカナダ・オーストラリア・ニュージーランド 3 イギリスとフランスの繁栄 4 クリミア戦争とヨーロッパの再編	a:近代国民国家の変容を通じてその特性を踏まえて、国民国家の成熟を理解している。 b:各地域の国民国家を比較し、その特徴と相違点を根拠を示しながら文章で説明することができる。 c:国民国家の成立と拡大が果たした人類史上の役割をその背景を理解しながら、探究的に学ぼうとしている。	定期考査 小テスト	レポート 課題	レポート 課題 グループワーク
	アジア諸地域の動揺	1 西アジアの動揺 2 南アジア・東南アジアの動揺 3 東アジアの動揺	a:西欧の進出に動揺するアジア世界の動揺を理解している。 b:各地域の侵略を比較し、その特徴と相違点を根拠を示しながら文章で説明することができる。 c:西欧世界の拡大によって、支配下に置かれたアジア世界の状況を、背景を理解しながら、探究的に学ぼうとしている。	定期考査 小テスト	レポート 課題	レポート 課題 グループワーク
2学期	帝国主義と世界	1 現代社会の特質 2 帝国主義と列強 3 アジアの民族運動	a:帝国主義の拡大と民族運動との関連性をその諸条件を踏まえて理解している。 b:各地域の植民地政策と民族運動を比較し、その特徴と相違点を根拠を示しながら文章で説明することができる。 c：民族運動が植民地支配に与えた影響をその背景を理解しながら、探究的に学ぼうとしている。	定期考査 小テスト	レポート 課題	レポート 課題 グループワーク

※令和４年度以降入学生用

3学期	第一次世界大戦	1　第一次世界大戦とロシア革命 2 ヴェルサイユ体制と欧米諸国 3 アジアの動向	a:史上初の世界大戦と社会主義革命が人類史に与えた影響を理解している。 b:戦間期の世界が次なる大戦に繋がりを持つことを史料を示しながら文章で説明することができる。 c:第一次世界大戦が人類史上に与えた役割をその背景を理解しながら、探究的に学ぼうとしている。	定期考査 小テスト	レポート 課題	レポート 課題 グループワーク
3学期	第二次世界大戦と諸地域の変容	1　世界恐慌とファシズム 2 第二次世界大戦 3 戦後の世界と冷戦 4 アジアにおける冷戦 5 冷戦の展開	a:世界大戦の発生が思想的な暴走だけではなく、経済的な対立が背景にあるとことを理解している。 b:第二次世界大戦が世界に与えた影響を史料を通じて、根拠を示しながら文章で説明することができる。 c:20 世紀の人類が経験した惨禍から主体的に学び、学び続ける主体としての人間であろうと志向している。	定期考査 小テスト	レポート 課題	レポート 課題 グループワーク
3学期	第三世界の形成と世界経済の動揺	″1　第三世界自立の模索（第Ⅴ部扉含む）″ 2　世界経済の動揺と第三世界の動向 1　紛争解決への取り組みと課題 2　経済のグローバル化と格差の是正 3　科学技術の高度化と知識基盤社会	a:世界各地域の現代的課題を歴史的な背景を踏まえて理解している。 b:現代世界の諸問題を歴史的な背景を根拠に理解し、文章で説明することができる。 c:グローバリゼーションの背景にある人類の経済的停滞を、その背景を理解しながら、探究的に学ぼうとしている。	定期考査 小テスト	レポート 課題	レポート 課題 グループワーク

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度